

時事新報

第千二百三十二號
明治十九年三月廿五日 水曜日
舊丙戌二月二十日 (甲申)
日出版五時三十分
月入後六時三十分
年入後九時三十分
西曆一千八百八十六年

時事新報定價

一月三圓 三月九圓 半年十五圓 一年三十圓
○一月三圓 三月九圓 半年十五圓 一年三十圓
○一月三圓 三月九圓 半年十五圓 一年三十圓
○一月三圓 三月九圓 半年十五圓 一年三十圓

時事新報

國會開設の準備は善利にあり

今去る五年前に明治二十三年を期して國會を開設するの詔ありてより政談甚だ喧しくして政黨大起り全國一時の有様は杯耳熱して歌舞舞臺とも評す可き程なりしが然るに冷と催と物理の原則、酒醴め歌舞舞臺に四邊人影なく歌舞舞臺沈沈たる景況を現は之以て今日に至りたり扱て今日に至りて前途明治二十三年と望まば僅く四箇年間を剩すのみ政治上に於ては長日月と云ふ可らる是に於てか我政府にても亦其準備に取り掛り過般は臨時建築局を設て諸官衙及び議院の建築を用意し追て憲法の草案も脱稿せんとするの勢あり隨て民間も近來漸く國會準備論の死灰と再燃し國會議員候補の如何、撰舉區の制の如何、可なりと種々議論も亦さきと憲法等は我國にて始て制定する事でもなく其利害得失に就ては歐洲諸國が先例甚だ多しとなれば之を變通して我國に適用するも格別六事多しと思はれず唯我輩の所見にて爰も國會の準備とて今日より一日片時も忽ち可らざるものあり何ぞや日本國中有志家の奮興即ち之あり抑も政治世界なるものは元來善と得るの地に非ず善を得たる善を得て之を以て志と伸べ無形は榮華富貴等を買ふの場所なり左れば有志家として若し本來無一錢唯其志の之を所持去りて政治世界に立つことあらんは逆も花やしき動きを現しすと能はざるべし試に歐米文明國の政治家を見よ皆身に相應の財産を具へ一身獨立の計に於ては補として餘裕あると普通の例とす可く所に據れば米國元老院の議員は狀師代官人中の有名なものとして其一年を占むと即ち此議員等は平生代官事務の準備とて其生計を富まし政治世界に於ては固く富者たるの望も唯其業より得るの財産と地

無一錢の有志家、其志如何強壯なりといふと雖も議員として此間を立ち其勢力を占むる能はざるのよか此等の有志家は始めより國會議員に列するに能はざるなり即ち英國にて M.P. (國會議員の略稱) といへる智識は勿論は事なれども智識よりも富る財産ある人物たるを志し素養の有志家にては逆も此貴重なる肩書を得るに能はざるなり我國にても今後國會のいよいよ開けて國會議員各地より東京に群集することあらば政治社會黨の習として其交際も華者に流れ自かか一種の東京生活を生ずることあらん此際各地より進んで來るの模範を見れば數多の候補者競争場に現はれ投票是れ金あり (Vote is money) の勢にて金銀を撒き撒き者の歡心を得るものは自然多數の投票を集め有志無識の人物の遂に國會議員たるの榮を得ると能はざるや必然なり左れば今我國の有志家は議員選挙論、憲法論、論議等と研究するよりも先づ自ら其志と成すだけの財産を作り置くこと國會の準備として自家直接の大急務なる可し然るも今日の有志家あるもれば智識甚だ高く學問甚だ深く更に此上益と欲すべき所なきに唯欠くる所は財產の一點にして或は擲げれば縣會議員となるも縣會議員中の日當の十分分あるも辟易し或は常置委員に當選して毎月三四十圓の収入を得て窮乏に自ら苦み苦みさへなきに非ず今の有志家の不如意慨然なりといふべし言を寄す全國有志の人、今後國會の開設を以て早く先づ蓄財策を運らし置くべし、有志家果てて志あり又財あれば天下何物か意の如くならざらんや今にして早く此準備を爲し後日時は過ふも空しく錢のなきを歎息するが如き愚拙を學ぶるあらんよと我輩の切に希望する所なり

官報

○農商務省令第二號
穀量一斗以上ノ授受スルノ際一斗柄ヲ用ヒサルトキハ其授受者ニ於テ之ヲ拒ムコトヲ得
明治十九年三月二十四日
農商務大臣 伯爵西郷 從道

○辭命
東京砲兵工廠提理兼砲兵 黒田 久孝
會議議員陸軍砲兵大佐 黒田 久孝
兼補參謀本部陸軍部第三局長(三月廿二日陸軍省)

○隨意渡航人條約 日本帝國政府及布哇國政府の間に締結せし隨意渡航人條約は本月六日とて批准交換相濟せたる旨在布哇安藤總領事より外務大臣へ電報ありたり
(以上三件本年三月二十四日官報)

大阪通信

大阪通信員三月廿日發
山縣大臣の一行 山縣大臣は履行中山縣官署其他七名と共に昨午午後七時大阪停車場に若し大阪府廳より差遣えたる馬車に乗り昨夜は北濱二丁目なる専船へ投宿せり今廿日午前九時より藤田三郎氏方へ立寄り夫より延野知事、大橋警部長、加藤土木課長等と共に昨午水原の原水着に降り河内國牧方陣に至り淀川筋に轉じて場所等を見物し午後一時頃一鳴廿一日の知事の催えよ大臣一行を警護する管あり大臣は來る廿三日西京へ行き四日市より汽船にて歸京すべしといふ○神戸東船會社 同會社にては今度大阪西區富島町竹五番地郵便局跡に支店を設け本日開業式を執行せり引船汽船の飛龍丸一艘を馬力二二三馬力なり昨日試運轉させしが五十石以上百五十石以下の日本形船八艘を引たり物は近日汽船汽船二艘と新造する由にて支店長は上田信一郎氏なり○大阪鐵工場 府下安治川北邊に於る大阪鐵工場は鐵創立の際の神戸下山手通平野龍太郎氏の所有なり其後大阪の門田三郎氏衛氏に譲り渡せよ今度又譲り戻し再び平野氏の所有となりたるが現今同所にて使役する職工は二百名餘に工場は四棟あり船渠は(四十三間)一體所なる故船渠は修繕中なり○川口碇泊の船泊 目下大阪川口に碇泊する船泊は非多く富島町一丁目より天保山迄凡一里の間の間隔もなく碇泊せり本日取期にて西洋形帆船前十二艘、汽船十七艘日本形五十石以上八百石以下にて都合二百七十三艘ありと

福島通信

福島通信員三月二十一日發
○福島通信 福島通信員三月二十一日發
○福島通信 福島通信員三月二十一日發
○福島通信 福島通信員三月二十一日發

生糸價の暴落及表況

昨日の續き
六月中旬ハ伊國製作ノ風説アリ由テ漸次下落ノ景況ナリ
同月下旬ヨリ七月上旬ハ伊國ノ收獲前日據傳ノ事ヲ傳ヘテ昨午ヨリハ凡ソ四分ノ一ニ減テ可トノ

風説洩傳ス然

風説洩傳ス然
風説洩傳ス然
風説洩傳ス然

提系下仁田

提系下仁田
提系下仁田
提系下仁田